



UMEX 夢っくすニュース

かわらばん 冬号

火曜日本語クラス

大嶋 映子

Culti Festa への参加



11月28日(土)に国際大学でCulti Festaがあり、学生さんに誘われて見に行ってきた。

春のインターナショナル・フェスティバルと違って南魚沼市が協賛していない為、知らない人も多かったようです。それに加えて夜7時からの開催ということで一般の人はごく少なく、ほとんど学生さんとその家族のようでしたが、その分、みんなで楽しもうという雰囲気強く、ダンスなど、踊る人と観る人がいつの間にか混じり合っしまい、笑い声が絶えませんでした。

国へ帰ってからも卒業生同士の交流が続いていくのは、授業だけでなく、こんな楽しい時間をたくさん共有したからなんだろうな、と感じました。(田中 美智子)



新学期から3ヵ月、台湾からの交換留学生のシーさんと日本語を勉強しました。

シーさんは大学の日本語授業も受講しており基礎4クラスで、主に持参してきた「みんなの日本語」を使用して勉強しました。とても勉強熱心でどんどん自学をし、火曜日本語クラスも一度も休まず通ってくれた優等生です。初中級レベルになると少し難しい日本語になってきます。自動詞や他動詞の用例に悪戦苦闘しながらも、身近な話題を例に挙げて会話練習をすすめました。時にはその例文から話が膨らみ、台湾の文化や習慣なども教えてくれました。

毎回、新しい日本語の使い方が分かった時には「I got it!」と言って晴れやかな笑顔になったのがとても印象的でした。短期間ではありましたが、本当に一生懸命勉強してくれて、私の方が準備不足で上手く説明できなかったり、反省点が多かったです。そして「帰国後はすぐに11か月の兵役に就く」とのこと。大学院を卒業し、日本語も上手になり、希望に満ちた25歳の若者が兵役に就くという現実、近国とは言え、政治の違いにゆめっくすメンバーも驚き心配しています。

私自身も「友人が兵士になる」ということがとても複雑な心境で言葉になりません。どうか無事に戻ってきて下さいね。そしてまたどこかで再会できる日を楽しんでいます。



トゥーさん送別会

小島 由美

9月18日(金)に、高橋和子さん、大嶋映子さんと、ベトナム出身のトゥーさんの送別会をしました。トゥーさんは、9月8日の夢っくす日本語クラスに、初めて訪れてくれました。学んだばかりの日本語を、すぐその場でマスターしてしまうことに、とても驚かされました。明るくフレンドリーな人柄で、あっと言う間に仲良くなれました。

その3日後に歓迎会をしました。トゥーさんは、お汁粉に似たベトナムのスイーツを作ってきてくれました。北部のハノイ出身ですが、ベトナムでは、南下するほど甘い物が好きだそうです。この日もお互いの距離が一気に縮み、話が尽きませんでした。

そして次週の18日に、何と、送別会をしました。トゥーさんは、春雨、キクラゲ、豚挽き肉等をライスペーパーで巻いて揚げたジューシーな春巻と、ツナサラダを作ってきてくれました。手作りのレモンドレッシングが、さっぱりして美味しかったです。ベトナムでは、小さなスペースさえあればライムを育てて、料理に使うそうです。私たちは、きのこご飯、煮物、梨、ぶどう、水ようかんを持参しました。どれも美味しいと喜んで食べてくれました。

何と言ってもトゥーさんが一番感激してくれたのは、サプライズで行われた着物の着付けです。「こんなに美しい着物が着られるなんて、私は今、世界一幸せ!」とまで言ってくれ、私たちも、とても幸せな気持ちになりました。

トゥーさんとは、たった3回の会合でしたが、素敵な出会いは、会う回数とは関係ないことがよく分かりました。とても濃密で大切な時間を共有できました。

トゥーさんは、今後2年間、東京で勉強するそうです。「ぜひ豪雪を体験してみたい!」とのことですから、早くも再会の日が楽しみで仕方ありません。



お月見パーティー



9月20日(日)にキッズイベントのお月見パーティーが行われました。国際大学の新入生が飛び入りで参加して下さいました。椅子取りゲームでは、参加者を動かすために様々な条件を言葉に出すのですが、なかなか思いつかず意外と

大変でした。ピマータでは、なかなか箱が割ってくれなかったのですが皆さん楽しそうでした。

和気あいあいとした和やかなパーティーとなりました。ありがとうございました。(福島 寛之)



楽しかったハロウィンパーティー



11月1日(日)に学生さんとその家族、夢つくすメンバーでハロウィンパーティーを行いました。

パーティーの初めは、フルーツバスケットと言う体を使ったゲームで盛り上がり お互い笑顔もこぼれるいい始まりとなりました。和んだところで ハロウィンには欠かせないおやつを入れるバスケット作り。時間をかけそれぞれ可愛いカボチャ型のバックが出来上がりました。その後は持ち寄ったごちそうを食べながらのパーティー… わいわいがやがや楽しい時間を過ごすことができ、日本に居ながら外国の文化に触れる良い機会でもありました。もちろん、最後は作ったカゴに山盛りのおやつを入れて帰られたのは言うまでもありません。

これからもこのような交流を通しお互いの文化を深めていきたいと思っています。(小岩 久美子)

クリスマスパーティー



キッズサロン恒例のクリスマスパーティーを12月23日(水)に行いました。今年はいつもになく少人数ながらも和やかに楽しく行いました。

まず始めに行ったのはもぐらたたきゲームです。制限時間を設け目標カウントをクリアできるかを競いました。子どもも楽しんでいたのはもちろんですが、大人は汗をかいてしまうくらいにハッスルしてましたね! 無邪気とはこのことをいうのでしょうか(-)。

次は、このところ恒例の椅子取りゲームです。全員で楽しめつついついみんな本気になっての椅子取り合戦が始まります。言葉の勉強にもなり、今後もキッズサロンの定番となりつつあるゲームです。クリスマスリースも昨年に引き続き作りました。今年も素敵なクリスマスリースが出来上がり皆さんのデザイン性に驚かされました! ランチパーティーでも皆さんが持ち寄った美味しい料理に舌鼓を打ちました。ごちそうさまでした(^^)また、皆さんからのご協力もありクリスマスプレゼントも配ることができました。参加された皆さんとても喜んでおり本当に感謝致します。

2015年もさまざまなイベントを行いました。2016年もキッズサロンをますます盛り上げていきたいと思います。会員の皆さんもお友だちをお誘いになって気軽に参加して下さい☆

(角屋 志津子)

チューターに逢いたくて

友人に誘われて4月、憧れであった湖水地方、コッツウオルズを含む早春の“イギリス縦断の旅”に行ってきました。このツアーの話聞いたときに一番先に考えたのは国際大学の卒業生で私のチューターであったヘレナさんに会えるのでは? という事でした。彼女は日本の企業に勤務していてロンドン支店にいました。早速彼女にメールして会えるかどうか打診しました。すぐ 会いたい と連絡があり、ツアーの最終日のフリータイムに会うことにして、お互いの携帯電話の番号を交換しました。

お天気にも恵まれツアーの最終日、午前中はロンドン市内観光、昼食が終わってフリータイムになったのが午後2時を過ぎていました。大英博物館の正門の前で4時に待ち合わせることにしていたので、友人と待ち合わせ場所まで歩いて行きました。正門の前で待っているとヘレナさんが会社を早退して来てくれました。顔を見たたん思わずハグしていました。早速近くの喫茶店に連れて行ってくれ、お互いにまた会えたことを喜び合いました。彼女のオフィスはロンドンのシティと呼ばれる金融街の中心にあり、忙しい毎日を過ごしているとのことでした。私達は日本語で話をしていたのですが、7年前よりも上手になっていてさすがだと思いました。彼女は結婚もしてロンドンの生活を楽しんでいて、幸せそうな話しぶりに安堵しました。

2人共写真を撮るのもすっかり忘れて話に夢中になり、あっという間に時間が過ぎツアーの皆さんと合流する時が迫りタクシーを止めてもらってお別れしました。とても良い時間を過ごすことができたことが本当に嬉しかったです。8月に彼女はアメリカ、ニューヨークに転勤になりました。(坂大 英子)

魚沼日記 チャット編

「聞き流すだけで英語は覚えらる。」って、本当でしょうか？聞き取れない音は覚えられません。そして聞き取ろうとして聞かなければ、聞き取れません。悲しいかな、私の英会話の進歩は、牛歩の如いです。

では、「習うより慣れること」が正しいのでしょうか？遠回りをし、暗い道を彷徨った拙い経験から言えることは、「習いながら慣れろ」ではないかと思えます。スキー指導にも共通しますが、時間をかけて慣れさえすれば、初心者でも、転ばなくはなります。しかし、正しい方法を学ばなければ、うまく操ることはで

きません。慣れることと上達することは違うのです。さらに、楽しくなければ長続きしませんし、生かす場がなければ、モチベーションは上がりません。「正しい道を選び、慣れて、生かすこと」こそ、大切なのではないのでしょうか。そして、続ければ必ず効果が出ますが、続けなければ効果は出ません。

Chat in English は、語学を学ぶ上で、重要かつ有効なものだと感じています。語彙や文法などは自宅で学習し、この会話に臨めば、やってきたことが、試せる、使える、生かせるなどの喜びを味わうことができ、度胸も付きます。好循環、相乗効果が望めます。繰り返すことで、きっと大きな力になります。企画立案してくれた夢っくすスタッフには改めて心から感謝しています。

以前、大学の先生が、「日本で一番国際的なまちは、どこでしょうか。それは、東京でも京都でもありません。この南魚沼なんです。」と話されたことが脳裡に焼き付いています。この大自然に抱かれたふるさとで、居ながらにして、40か国300人ももの留学生と触れ合うことができるのです。私も今まで、全回に出席し、10か国以上の異なった英語に触れました。

ネイティブもすなるチャットといふものを魚沼人もしてみむとてするなり。あなたもいろいろな英語にふれ、一緒に楽しんでみませんか！一緒に刺激しあい、文化を吸収してみませんか。
(今井 雄一)



十日町高校国際交流授業

去る10月14日(水)と11月11日(水)の二日間、十日町高校からの依頼で、2年生の国際交流授業に国際大学の学生さん各回13名と参加してきました。

2年生270名が、15名くらいのグループに分かれ、体育館で国際大学の学生さんを車座になって囲み、それぞれの国の話を聞きました。

最初は高校生達は質問されても、なかなか積極的に言葉を交わすことができませんでしたが、特に2回目となった11月の時には、高校生にも笑顔が増え、学生さんたちの話を真剣に聞き取ろうと努力している姿が見られました。参加してくれた学生さんは、バングラディッシュ、ベトナム、タイ、インド、ヨルダン、南アフリカ等、国名は知っていて

も、どんな国なのか、高校生にとっては初めて知る国も多く、1時間では時間が足りなかったようでしたが、最後はとても打ち解けあっていました。

学生さんたちも、日本の高校生に自分の国のことを紹介することができ、『こんな機会をもらえてうれしいです。』と喜んでいました。また、初めて高校生の日常生活に触れ、授業のあとは制服姿の高校生たちと記念写真を撮ったり、撮られたりと楽しんでいました。

『日本のテレビドラマで見たことはあったけど、本当に部活をする姿をみて感動しました。』と名残り惜しそうに、高校のグラウンドをみていました。

短い時間ではありましたが、学生さんにとっても、高校生にとっても、とても良い国際交流のきっかけになったのではないかと思います。もし、また機会があれば、こういう授業を定期的に続けていければいいのにとともに思いました。

今回、この国際交流授業を行うにあたって、夢っくすの櫻井さん、関矢さん、高橋さん、野口さん、学生さんの送り迎えをお手伝いありがとうございました。十日町まで距離もあったので、大変でしたが、高校生の笑顔を見て報われました。これからも学生さんと地域との交流の懸け橋となるお手伝いができればと思います。
(高橋 和子)



国際大学留学生と地域との交流

私達の協会は、国際大学の留学生とその家族に対する支援と地域住民と留学生との交流の促進を図ることを目的として、2002年に設立され、現在、約70名の会員が活動しています。

活動内容は、新入生歓迎パーティー、日本文化の紹介と体験、日本語の学習支援等の実施と留学生からは英会話教室、母国紹介、地域住民や会員が外国を理解するための多文化理解講座等の講師を務めていただくなどで交流しています。

多文化理解講座では、留学生と参加者が一緒に紹介国の料理を作り、その国の料理を味わう昼食会を行います。その後、自国の文化、日常生活、観光地などを、プロジェクターを使用して紹介し、最後に、歌や踊りを披露します。踊りでは、途中から参加者も加わってもらうなど、その国の食べ物や踊りを取っ掛けにして、多文化を理解できる催しです。なお、留学生数が少ない国については、年に2～3ヶ国を、留学生からプレゼンテーション形式で母国紹介を行っていただいています。

これまで、この講座ではネパール、ラオス、フィリピン、ミャンマー、中央アジア諸国など10以上の国と地域を取り上げて来ました。地域住民を含め、毎回楽しみにしている方もおり、多くの方が参加します。紹介した留学生達からも、自分の国を紹介する機会の提供に対して、感謝の言葉もいただいています。

また私たち会員は、留学生や家族が地域の夏祭りの民謡流参加や花火見物などのお手伝いし地域住民との交流を促進しています。

南魚沼市内で実施されている在住外国人向け日本語教室には、留学生やその子ども達も参加していますが、この子ども達が地域の保育所や学校に通うことで、地元子ども達が外国人との交流に慣れて仲間意識の醸成につながるのと同時に、外国人と日本人双方の親同士の交流にもつながっています。また、日本語を覚えた子どもが親の通訳をするなどの光景も見られ、子どもたちも交流の架け橋役を担っています。

このような事業は、地域住民にとって、外国を理解し交流する良い機会であり、絶好の国際交流事業ではないかと取り組んでいます。

南魚沼市は、国際大学で学ぶ多くの国の留学生がおり、様々な国の学生や家族の方々との交流できる環境にあります。この特性を活かし、これからも、会員、留学生、大学、自治体、地域の理解と協力のもとで活動していきたいと思えます。

うおぬま国際交流協会 副会長 櫻井 徳治

(新潟県国際交流協会発行 NIAニュース 2016年1月号掲載抜粋)

新会員のご紹介

No.478 須田 美和 (魚沼市)
No.479 西野 和美 (南魚沼市)
No.480 古田島 千里 (魚沼市)

★よろしくお祈りします★

会員更新のお願い

今月より平成28年度の会員更新の受付を開始します。会費は下記の口座にお振り込み頂くか、夢っくすサロン(毎週土曜13:00~15:00)に直接お持ちください。皆様の更新をお待ち致しております。

会費振込み郵便局口座

会費: 3,000円(個人会員)
家族会員: 1,500円
団体会員: 1口10,000円で任意の口数
口座番号: 00550-7-74672
口座名称: うおぬま国際交流協会

多文化理解講座(ミャンマー)の様子



食事後のミャンマー紹介



参加者も加わってミャンマーの踊り

新年会のお知らせ

新年会を下記の予定で開催します。今年は、特別企画で横川恵子さんの「新年の琴演奏とごぜうた」演奏があります。皆さんの参加をお待ちしています。尚、新年会は料理の持ち寄り形式(ポトラック)です。

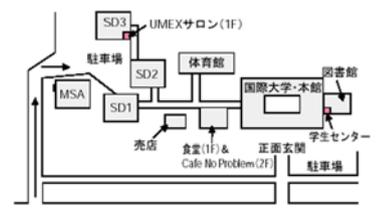
日付: 1月24日(日)
時間: 11:00~14:00
場所: 大和公民館 2階大会議室
内容: 11:00 琴とごぜうた
12:00 新年会
問合せ: 櫻井 徳治 025-772-4589

UMEX うおぬま国際交流協会

UONUMA Association for Multicultural EXchange



〒949-6609
新潟県南魚沼市八幡35-7
うおぬま国際交流協会(夢っくす)事務局
夢っくすサロン(国際大学第3学生寮1階)
TEL/FAX: 025-779-1520
E-Mail: office@umex.ne.jp
URL: http://www.umex.ne.jp/



担当者連絡先

サロン 高橋:070-5083-3123 イベント 櫻井:080-6608-4830
多言語支援/外国語 坂西:090-5585-2066
広報 森山:090-6945-9402

【編集後記】

今シーズンは昨シーズンの大雪とは違って変わって少雪ですが、かわらばんが届く頃にはどうなっていることでしょうか? 今回の冬号も編集作業は年末・年始の時期となってしまうました。今年もよろしくお願いいたします。(toshi)